



# Ferrie



きらめく女性たちの  
ゆるやかなひとときのために

## 社長の日記

先日熊本県八代市に行って参りました。八代は畳イグサ（漢字では“藎草”と書きます）の日本最大の産地です。日本のイグサの産地の現状ですが、熊本562軒、福岡14軒、高知2軒、石川2軒、広島1軒とイグサ農家の95%以上が八代を中心とした熊本県です。八代はあの加藤清正公の頃からの干拓によってできた土地で、イグサの栽培に適した土壌らしく、その栽培が広がったのだそうです。

カツマタが標準仕様としていす無農薬栽培のイグサは、この八代の中でも1軒の農家さんしか生産できていません。下の写真は、その日本に1軒しかない無農薬イグサの農家さんと、田んぼの前で撮ったツーショットです。



お話を伺うと、やはり土づくりが命のようです。カツマタでも小さな無農薬ファームがあるので少し話がわかりましたが、土の中の菌について非常に深く勉強され、今の無農薬栽培にたどり着いたということが良く伝わってきました。それまで農薬を使って栽培していた田んぼに農薬を使わないと、数年間はととも売り物になるような作物は採れないのだそうです。

他の農家さんも何軒も無農薬栽培にチャレンジされたそうですが、皆途中で挫折してしまっただけです。

この農家さんは、日本ミツバチはこの田舎では生きていけない、都会のビルの屋上で日本ミツバチを養育している方がいて、都会の方がずっと環境が良い。ということを知り、農薬漬けた田んぼに疑問を持たれ、無農薬栽培を志したということです。ほぼ収入にならない何年かの期間を乗り越え、研究・試行錯誤しながら無農薬栽培イグサにたどり着かれた本当にすごい人です。まさに「奇跡のリンゴ」のイグサ版「奇跡のイグサ」と言って過言ではありません。今回カツマタの標準仕様であります無農薬イグサが改めて素晴らしいものだということを再認識した次第です。

また地元有志の方たちで組織している無農薬イグサを広めていこう、という趣旨の会合にも参加させていただきました。県の職員さんなども駆けつけて、熱心に意見交換されていました。私も無垢材を扱う工務店の立場から、家づくりをお考えのお客様の最近のニーズなどを述べさせていただきました。

たった1日の滞在でしたが、地元を愛する熱意ある方々と出会い、生の声を聞いたことは大変有意義でした。今後も連携していきたいと思っております。

- ・会社名 株式会社 カツマタ
  - ・社員の人数 14名
  - ・提供できるもの 材木屋が造る無垢の家
  - ・モットー 1棟1棟丁寧に
  - ・会社の場所 武蔵野市吉祥寺東町1丁目19-22
  - ・連絡先 電話 0422-22-8033  
Fax 0422-22-5521
  - ・ホームページ <http://www.katsumata-arch.com/>
- ※配信の停止を希望される場合は、お手数ですが、弊社までご連絡ください。



今月も読んでくださいます  
ありがとうございます。  
来月も一生懸命作ります。  
お楽しみに！